

第 116 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和 4 年 6 月 20 日 (月)
- 2 開催場所 割烹さわ
- 3 出席について
 - 委員総数 13 人
 - 出席委員数 8 人
 - 出席委員の氏名 (敬称略)
 - 小澤健一 / 風間隆之 / 風間まり子
 - 佐藤正幸 / 高井俊一郎 / 富田充慶
 - 松田和也 / 吉村巳之
 - 欠席委員の氏名 (敬称略)
 - 相京恵 / 今井陽子 / 清水一希
 - 竹中隆 / 吉井照雄

 - ラジオ高崎 3 人
 - 代表取締役社長 大山駿作
 - 執行役員放送局長 田野内明美
 - 執行役員放送部長 吉良武夫
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
 - 「特別番組 広げよう防犯の輪」 について
 - 番組全般について
 - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 令和 4 年 7 月 3 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分

(別紙) 議事の概要

- ・ 代表取締役社長大山駿作より挨拶。
- ・ 執行役員放送局長田野内明美より特別番組の紹介。
 - 交通事故ゼロをめざして～春編～
 - 特番「創作落語 ちいさなて (横断歩道)」 落語家：林家つる子
 - 特番「創作落語 家族のペダル (自転車)」 落語家：立川がじら
 - 第 10 回 榛名山ヒルクライムin高崎 独占実況生中継
 - 高崎芸術劇場 大友直人 Presents T-Shot Vol.6 上野通明 チェロ・リサイタル再放送
 - 広げよう防犯の輪 (※ 審議対象 詳細以下に掲載)
 - 剣道特別番組 一意専心
 - 林家つる子のつるっとしている～お菓子にまるわるエトセトラ～
 - 高崎芸術劇場 大友直人 Presents T-Shot Vol.7 谷昂登 ピアノ・リサイタル生放送
今後開催の主催事業概要説明
 - ラジオ高崎開局 25 周年 桂二葉 高崎落語会 スペシャルゲスト 林家つる子

※審議対象「広げよう防犯の輪」

【番組名】 特別番組「広げよう防犯の輪」MC：篠原悠介

【ゲスト】 金子厚子 高崎警察署生活安全課 生活安全係長
絹川佳則 高崎北警察署生活安全課 課長代理

【本放送】 6 月 11 日(土)14:15～14:45

【再放送】 6 月 14 日(火)15:00～15:30

6 月 16 日(木)20:00～20:30

6 月 19 日(日)9:00～9:30

【内容】 番組は、警察の防犯担当者へのインタビューと特殊詐欺の寸劇の 2 部構成。
警察担当者には次の①～③を紹介して頂いた。

- ① 特殊詐欺被害に遭わないために気を付けること。
 - ② 群馬県内で 42 年ぶりに新設された警察署「高崎北警察署」について
 - ③ 防犯情報などを E メールで配信している「上州くん安全・安心メール」
- 後半の寸劇は、高崎警察署から提供を受けたオレオレ詐欺被害の実際の内容に近い台本をもとにラジオドラマを作成。特殊詐欺の危険性を伝えた。

- ・ 番組説明と OA 素材試聴のあと、他の番組も含めて広く意見を求めた。

委員各位の意見

特別番組「広げよう防犯の輪」について

- 「オレオレ詐欺」はもちろん、「フィッシング詐欺」や「ロマンス詐欺」などメールや SNS でのやり取りのみで特殊詐欺の被害に遭うケースがある。今回のラジオドラマのような内容で、詐欺の種類別に注意喚起を促す放送を何度もするのがよい。
- 寸劇は非常に分かりやすいドラマだった。何人もの犯人から立て続けに電話が掛かってくるが、実際には、次の電話までどの程度の時間があったのかをナレーションで入れるとよいと思った。
- 特殊詐欺はものすごいスピードで多様化している。先日の雹被害では、直後から修繕や保険金関係の未遂を含めた詐欺事案が報告されている。アンテナを張り巡らせて「詐欺犯より早い注意喚起」ができるとうよいと思う。
- 詐欺対策用の留守番機能のついた電話機や、迷惑メールを届け出るサイトなど、詐欺被害に遭わないための具体的な方法を繰り返し紹介してはどうか。

その他の番組やラジオ高崎の取り組み全般について

- 剣道特別番組「一意専心」に出演した谷勝彦さんは、群馬県の剣道界ではとても有名な先生。剣道関係者は特別な思いで番組を聴いたと思う。NHK 前橋との連携放送で紹介された内容もよかった。
- 昼ワイド「LUV×CUL」に出演し、商品を宣伝したら売れ行きがよかった。ラジオ放送はもちろん、高崎 OPA ビジョンでの放映も効果があったと思う。今後さらに、映像・紙面・SNS などメディアミックスで情報を発信する必要性を感じた。
- 昼ワイド「LUV×CUL」は、ラジオ放送と高崎 OPA ビジョンでの放映を同時にすることや、ゲストパーソナリティーも各界多様で新鮮な感じがする。今後、番組の魅力をさらに高めてもらいたい。
- 第 10 回榛名山ヒルクライム in 高崎の放送は、ユーチューブのライブ配信を視聴した。ゲストの表情などもよく分かりとてもよかった。

- 先日の雹被害もそうだが、これからはゲリラ豪雨などの気象災害が発生しやすい季節。迅速できめ細かい地域情報の放送に期待する。
- これまで、ミドルエイジに向けた曲が流れることが多く、心地よいと思っていたが、新曲を聴くことのできる時間も欲しい。
- 高崎で公演をするメジャーなアーティストがいる場合は、公演のタイミングに合わせて曲を特集するのもよい。
- 朝は爽やかな曲、夕方はノスタルジックな曲など、放送する時間帯に応じた選曲がよいのではないか。
- 80年代の洋楽セレクトは、ラジオを多く聞く世代に響くと思う。

以上